

パラグアイ内政・外交報告（5月分）

政治情勢

2018年6月作成

1 内政

（1）プチェタ元最高裁判事の副大統領就任

9日、上院・下院は臨時議会を開き、アリアナ下院議長（コロラド党党首）のもと、プチェタ元最高裁判事を副大統領として任命する議案を可決した。本議決は4月11日にアフアラ元副大統領が上院議員に就任するため同職を退いたため、その後任を任命したもの。同議案は両院で81票（上院27票、下院54票）の賛成票により可決され、宣誓を経てプチェタ氏がパラグアイ初の女性副大統領に任命された。

コロラド党所属議員はプチェタ氏の女性初の副大統領就任を賞賛した。他方、野党議員の一部は、プチェタ氏の最高裁判事在任時の判決の一部が憲法違反であるとし批判している。なお、ルゴ上院議長（元大統領）を始め、野党議員の一部が臨時議会を欠席した。

（2）次期外相及び現外相との移行作業の開始

18日、カスティグリオール二次期外務大臣とロイサガ外務大臣は外務省において、外務大臣の業務移行に関し協議を行った。

カスティグリオール二次期外相は、ロイサガ外相が移行プロセスは可能な限り効率的な方法で行う姿勢を示した旨述べるとともに、「21日の週から、ロイサガ外相とともに移行を行っていく。政権が移行する8月15日からすべての業務を平常に開始できるよう、順序立てて、効果的・効率的に移行作業を行っていく」と明らかにした。

同次期外相は、ロイサガ外相と外務省の根本的な体制につき話したと述べたうえで、ロイサガ外相が外遊から戻り次第、EUMELCOSURFTA交渉及び近隣諸国との二国間関係等の現時点でパラグアイにとって重要性が高いものから着手していく旨述べた。

（3）農牧相及び税関長の交代

18日、カルテス大統領は大統領令第8961号に署名し、メディナ農牧大臣を罷免し、ナイティン前イタプア県知事を新大臣に任命した。

また、大統領令8964号により、フェレイラ副大臣（牧畜担当）も罷免し、マリオ・レオン氏を副大臣代行に任命するとともに、第8962号により、バリエンテ税関長を罷免しモラレス税関局次長を税関長代行として任命した。

農牧大臣・副大臣及び税関長交代の背景については、今月2日、衛生証明書を含まない必要書類を伴わない形で輸入されたブラジル産牛肉が検察に押収されたことをきっかけに、ブラジル産牛肉の大規模な不正輸入が表面化しており、本件による混乱の責任をとるための交代であるとされている。

（4）カルテス大統領による辞意表明

28日、カルテス大統領は、本年7月1日の新議会発足と同時に上院議員に就任

するため、上院議長宛に辞表を提出した（大統領の辞職が成立するためには議会の承認が必要である）。

30日、同大統領の辞職を審議するため両院会議が招集された。下院議員は定員80名のうち50名が出席したが、上院議員は定数45名のうち13名しか出席せず定足数に達しなかったため、議題が審議されることなく散会となった（6月26日、カルテス大統領は辞表を撤回した）。

（5）カスティグリオーニ次期外相の上院議員辞職

28日、カスティグリオーニ上院議員（次期外相）は、次期外相としての職務に専念するため上院議員を辞職した。

2 外交

（1）カタール外務担当国務大臣のパラグアイ訪問

7日、パラグアイを公式訪問したスルタン・ビン・サアド・アル・ムライヒー・カタール外務担当国務大臣はカルテス大統領を表敬した。同大臣は、4年前の在カタール・パラグアイ大使館の設立以来の二国間関係強化を継続する旨述べた。

（2）ロイサガ外務大臣と台湾外交部次長との会談

8日、ロイサガ外務大臣は、パラグアイを訪問した劉徳立（Jose Maria Liu）台湾外交部次長と会談した。同外交部次長は、パラグアイ政府及びロイサガ外相に対し、パラグアイからの国際場裏における恒常的な支持につき謝意を伝えるとともに、パラグアイ次期政権においても協力を継続していく旨述べた。

（3）在イスラエル大使館の移転式

21日、カルテス大統領はエルサレムにおいて在パラグアイ大使館の移転式を行った。同大統領は、この自律的な決定は、両国の強い友好関係において、歴史的な出来事である旨述べた。本移転は70年前の同日、パラグアイが国連で支持したイスラエル建国記念に合わせて行われた。

カルテス大統領は、本移転は真の友好及びパラグアイのイスラエルに対する団結を表すことで、意義深いものである旨明らかにし、「自分（同大統領）は、煮え切らない曖昧な友人ではない。イスラエルへの友情及び敬意は、民主主義、自由、人権擁護、差別なき寛容さ並びに他国との平和的共存といったイスラエルとパラグアイが共有する価値・原則に基づいている。」と述べた。

新大使館はマルハ・テクノロジー地区に開設された。パラグアイは米国、グアテマラに次いで3番目のエルサレムへの大使館移転を実施した国となる。

大使館移転式の後、同大統領はロイサガ外務大臣同席のもとネタニヤフ首相と会談し、二国間関係、ベネズエラを始めとした南米情勢並びに多国間関係につき意見を交わした。

（4）パラグアイ・韓国外相会談

25日、韓国を訪問したロイサガ外相はカン・ギョンファ韓国外交部長官と二国

間会談を行った。

両外相は同日実施されたメルコスール・韓国貿易協定の交渉開始につき祝意を表した。カン長官は、近隣諸国・地域ブロックとの関係強化・拡大を目指す文在寅政権の政策と本交渉との補完性を強調した。ロイサガ外相は、野心的な本協定を相互利益の観点から、合理的な期間で妥結させる重要性を強調した。

両外相は、パラグアイ・韓国の二国間関係を非常に建設的なものである旨評価した。ロイサガ外相は、K O I C Aを通じた農業、教育及び保健分野に関する協力の重要性につき述べるとともに、2017年に貿易額が増加したことにつれ、韓国からのより一層の投資増加とともに経済関係を深化する必要性につき述べた。

3 要人往来

(1) 来訪

- シュナイダー・アマン スイス経済・教育・研究相（公式訪問）
- マギー伯農業大臣，エチェベレ亜農産相，ベネッチ ウルグアイ農牧水産相，ウォーケルフィゲロア農業相（南部農牧水産委員会出席）
- スルタン・ビン・サアド・アル・ムライヒー・カタール外務担当国務大臣（公式訪問）
- 劉徳立（Jose Maria Liu）台湾外交部次長（公式訪問）
- Shri Haribhai Parathibhai Chaudhary インド石炭・鉱物相（公式訪問）

(2) 往訪

- マルティネス内相，亜・ブエノスアイレス（企業対象セミナー参加）
- ヒメネス公共事業相，伯・ブラジリア（第71回世界保健総会）
- モリニゴ厚生相，スイス・ジュネーブ
- カルテス大統領（ロイサガ外相，レイテ商工相同行），イスラエル・エルサレム（大使館移転）
- ロイサガ外相，韓国・ソウル（メルコスール-韓国間 FTA 交渉開始）
- マルティネス内相，パナマ・パナマシティ（閣僚会談）
- カルテス大統領（ペッチ スポーツ庁長官同行），ボリビア・コチャバンバ（第11回 ODESUR 南米スポーツ大会開会式）
- ヒメネス財相，伯・サンパウロ（ラテンアメリカ・カリブ国際経済フォーラム出席）
- モリニゴ厚生相，キューバ（国際医療コンベンション）
- ロイサガ外相，フランス・パリ（UNESCO 会合，OECD 委員会閣僚会議）